

令和3年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	コメント
1	ママGoGo	ママパスポートを持ってGo! Go! つながり・まなびプロジェクト	「ママが元気になれば子どもも元気になる、マチも明るくなる」を理念に活動してきた団体です。公的施設や地域など身近な安心・安全な情報を届ける「ママパスポート」を発行。「ママタメスクール」の講座運営や親子イベント「いっしょうもちあげ大会」を開催。吹田に馴染みのない「転勤族ママのサポート」などママ同士の繋がりも創出。今年度はパパ専用サロンやアフター育休のコラム、担い手育成・発掘セミナーなどを開催予定。	自立支援	110,222	73,481	コロナ過での子育て支援としてZOOMを導入されたり、広告料の増額等、自立に向けた取り組みもすばらしいと思います。 商店街との協働、パパ向けの子育ておしゃべり会などに取組んでいかれようとしていますが、今後の活動に期待をしつつ、今回の申請に関しては「継続事業」と判断しました。
2	社会の中で共に生きる会あゆみ	保健、医療又は福祉の増進	うつ病、不安障がい、発達障がいなどを抱え社会の中で「生きづらさ」を感じている当事者の会です。家から一歩、外へ歩み出て人と交流し、ほっとできる居場所です。 月に1回、参加者が集まって交流します。当事者が主体となって、お互いの近況や情報交換をしながら、お互いの悩みを共有して支えあいます。	自立支援	12,600	12,600	うつ病・不安障がい・発達障がいなどの当事者が交流し、お互いの悩みや近況を交換する活動は、とても大切な活動と言えます。当事者が気軽に集まり悩みを相談できる場を提供されていることはすばらしいと思います。 今後も未永く事業を継続され、当事者の輪を更に広げられていくことを期待しております。事業名を具体的な事業内容を表現する名称へ変更することを検討されてはいかがでしょうか。
3	NPO法人トイロ	子ども支援関係者の集い場「CONNECT」	子ども支援関係者の集い場「CONNECT」として2021年3月から始まり、第3金曜日にコネクトスクールトイロで実施していきます。「子どもたちにとって生きやすい吹田市にしたい」という思いを持った方々が集まって、研修会や意見交換会をやっています。	スタート支援	64,000	40,000	不登校やいじめなど、教育を取り巻く問題は多岐にわたり、なかなか解決の糸口を見つけるのが困難になっています。子どもたちの多様な生き方を支援するための様々な活動はもちろん、地域の子ども支援を行う団体・個人が連携するための機会を創出する本事業は、社会のニーズに合致し、協働を促進する点においてもすばらしいものです。 団体の予算書では、かなり大きな赤字を計上されていますが、事業の持続性・発展性を確保するため、今後、団体の収支の改善を図ってください。 支出における人件費の占める割合が高いため、大阪府の最低賃金を参考に人件費については減額での交付と判断しました。 団体や個人が参加するネットワークという事業の性質から、参加する各種団体が共同して自立性や持続可能な方法を検討していただきたいと思います。
4	吹田くわいを学ぼう会	吹田くわい普及事業	吹田くわいに関連する市民団体が「吹田くわい市民学校」を開催します。吹田くわいの歴史や特徴、栽培方法や実践的調理法など、吹田くわいの魅力、継承すべきノウハウが知れ、学びが広がります。コロナ禍、外出控え中の市民が、生きものや人との触れ合いを感じて、生活する上でも地元ならではの事業となります。	自立支援	75,000	42,500	吹田くわいの継承、普及のために活動されてこられ、「吹田くわい市民学校」を開催し、くわいの歴史を学び、栽培の促進、栽培体験を通じて吹田くわいの魅力づくりを計画されていることはすばらしいと思います。既存の団体とも連携するなど、活動の更なる推進を期待しています。 企業への吹田くわいの栽培促進に掛かる費用は栽培企業が負担すべきと考え、補助対象外としました。
5	吹田くわい囃子音頭を広める会	吹田くわい囃子音頭普及事業	吹田市制施行80周年記念市民企画事業特別賞「吹田くわい囃子令和バージョン」がより親しめるように盆踊りになりました。誰でもどこでも、座っていても踊れます。コロナ禍の今、この踊りを広めることで、コロナ収束後に再開された盆踊り等のイベントで吹田の踊りを踊ることができます。	スタート支援	38,000	38,000	伝統野菜の吹田くわいをモチーフとして歌と踊りという方法でコミュニティを活性化することを評価します。歌や踊りの専門家が参加し、魅力のあるDVDが作成されることを期待します。 DVDの作成だけでなく、映像作品を制作するプロセスに、どのように地域住民を巻き込む形で参加してもらうか、また普及活動をどのように展開していくのか、長期的な視点を持って取組み、発展性を考え、充実した取組みとしてください。活動の発展と継続に期待しています。